

[ 様式 9 - 1 ]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	法光院保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	京都府保育協会		

平成 23 年 7 月 12 日

総 評	<p>昭和 25 年に認可保育園として開設され、以来 60 年以上、地域に根ざして、「子どもは家庭の、社会の、そして国の宝として大切に育て、大人は子どもたちを健全に育てる努力をしなければならない」という理念のもと、保育園を運営されています。</p> <p>市街地にありながら、園庭には多くの実のなる木や、プランター栽培の野菜などがあり、緑豊かな環境とともに、落ち着いた家庭的な雰囲気があります。</p> <p>地域との連携を大切にしており、保護者や地域の方が参加する祭りや行事などを季節ごとに開催し、交流を深めています。また、保育の取り組みとして体操(3歳児から)・音楽(3歳児から)・茶道(4歳児から)などを行っています。</p> <p>管理者は運営面においても、マニュアル類の整備、職員間の連携など、園全体で一人ひとりの子どもの育ちを支えるよう取り組んでいます。</p>
特に良かった点( )	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子で参加する行事や、地元小中学校の体験学習、高齢者施設への園児訪問、出前保育など、地域との関わりを大切にしています。園庭や保育室の開放も行っており、「子どもの社会性を育てる」取り組みを実施しています。</li> <li>食育計画に基づき、クッキング保育や保護者参加型クッキング、年 4 回の保護者向け試食会、園庭で栽培・収穫した野菜や果物を食べる機会を設けるなど、様々な食育に取り組んでいます。</li> <li>保育課程、年間指導計画、短期指導計画が園の理念・基本方針に基づき、編成されています。毎月、管理者と各年齢の保育士による短期指導計画の自己評価・反省を実施し、次月の計画に反映しています。また、年 2 回職員全体会議にて年間指導計画の評価・見直しを実施し、次年度の計画に反映させています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点( )	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別懇談に関して今後は、希望者だけでなく、定期的な機会を設けて実施することが望ましいでしょう。</li> <li>研修計画を定め、毎月の園内研修の実施や、園外研修への参加に取り組んでいます。今後は、研修報告の内容や研修計画についての評価・分析を次の研修計画に反映されることが望ましいでしょう。</li> </ul>

それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	法光院保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2011年7月12日（火）

保育所評価基準 対比シート

福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
- 1 保育の理念・基本方針・目標	- 1 - ( 1 ) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	保育の理念が明文化されている。	A	A
		保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	- 1 - ( 2 ) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
- 2 計画の策定	- 2 - ( 1 ) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		- 2 - ( 2 ) 保育の計画が適切に策定されている。	保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A
	保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		A	A
	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		A	A
	保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		A	A
- 3 管理者の責任とリーダーシップ	- 3 - ( 1 ) 管理者の責任が明確にされている。	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	- 3 - ( 2 ) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育の理念・基本方針が明文化され、「園のしおり」や保育課程に記載されています。入園、進級式、保護者会総会で内容を説明しています。「園のしおり」は園見学者、育児相談来園者、実習生等にも配布しています。

・保育課程、年間指導計画、短期指導計画が理念・基本方針に基づき、編成・作成されています。毎月、管理者と各年齢の保育士による短期指導計画の自己評価・反省を実施し、次月の計画に反映しています。また、年2回職員全体会議にて年間指導計画の評価・見直しを実施し、次年度の計画に反映させています。

・保育課程、各指導計画は各クラスに配置し、いつでも閲覧出来るようにしています。

・管理者は、職員全体会議、乳児会議、幼児会議、給食会議、コア会議(各部署リーダー出席)、行事会議等に全て参加し、園の理念に沿って保育が実施されるよう努めています。

・法令関係をリスト化しています。それらリストの回覧や、保育内容マニュアルを職員に配布するなど、正しく法令等が理解できるよう取り組んでいます。

組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
- 1 経営状況の把握	- 1 - ( 1 ) 経営環境の変化等に適切に対応している。	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	A
- 2 人材の確保・養成	- 2 - ( 1 ) 人事管理の体制が整備されている。	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
	- 2 - ( 2 ) 職員の就業状況に配慮がなされている。	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
		職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
	- 2 - ( 3 ) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
- 2 - ( 4 ) 実習生の受け入れが適切に行われている。	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
- 3 地域との交流と連携	- 3 - ( 1 ) 地域との関係が適切に確保されている。	利用者地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	- 3 - ( 2 ) 関係機関との連携が確保されている。	必要な社会資源を明確にしている。	A	A

**[自由記述欄]**

・管理者は、自治体の通知通達や、各種保育団体から社会福祉事業全体の実態・動向を把握しています。また、地域の小中学校の評議員、地域諸団体や自治会等の役員として、地域の実態・動向などを把握しています。

・食育が保育と密接にかかわっているという考えのもと、保育士に調理師の免許取得を推進しています。それは職員同士が職種に縛られること無く、お互いに協力し合う柔軟な対応が出来ることを目的としています。

・管理者は職員の有給休暇や病休などを把握し、休暇取得に配慮しています。また、専属のカウンセラー等の配置はしていませんが、管理者やベテランを中心に相談などがしやすい雰囲気になるように努めています。

・研修計画を定め、毎月の園内研修の実施や、園外研修への参加に取り組んでいます。今後は、研修報告の内容や研修計画についての評価・分析を次の研修計画に反映されることが望ましいでしょう。

・実習生受入要綱を作成し、毎年15～20名を受け入れています。ボランティアも受入要綱を作成し、保育補助だけでなく、地域住民による絵画指導や演芸などで子どもたちと関わっています。

・親子で参加する行事や、地元小中学校の体験学習、高齢者施設への園児訪問、出前保育など、地域との関わりを大切にしています。園庭や保育室の開放も行って、「子どもの社会性を育てる」取り組みを実施しています。

適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
- 1 利用者本位の福祉サービス	- 1 - ( 1 ) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	- 1 - ( 2 ) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	B
		利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
- 2 サービスの質の確保	- 2 - ( 1 ) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	A
		定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	- 2 - ( 2 ) サービス実施の記録が適切に行われている。	入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
- 3 サービスの開始・継続	- 3 - ( 1 ) サービス提供の開始が適切に行われている。	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	- 3 - ( 2 ) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

・プライバシー保護マニュアルを作成し、職員に周知しています。

・苦情解決の仕組みが確立され、保護者からの要望等にも迅速に対応しています。今後は、要望を申し出た保護者に配慮したうえで、その対応内容を文書等で公表されることが望ましいでしょう。

・今回の第三者評価受診に際し、毎回の職員全体会議で保育内容の再点検を実施し、職員間で事業内容の改善にも活かしています。自己評価マニュアルを定めており、毎年1回、職員の自己評価を実施し、年度末の管理者との面接で、それをもとに保育サービスの向上に努めています。

・子どもの身体状況や生活状況、保育の状況などが決められた書式に、記録・管理されています。その内容は、必要に応じて職員会議で周知されています。

・利用希望者に対して、園見学の随時受付、「園のしおり」配布、希望者への園の紹介ビデオ配布など、必要な情報を提供しています。新入園児の保護者には、保育の開始にあたり、保育内容や物品購入内容などの説明を実施しています。

**-1 子どもの発達援助**

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
-1 子どもの発達援助	-1-(1) 健康管理・食事	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	-1-(2) 保育環境	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	-1-(3) 保育内容	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		身近な自然や社会とかがわれるような取り組みがなされている	A	A
		さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A		

**[自由記述欄]**

・健康マニュアルを作成し、登園中の園児の健康状態に応じて対応しています。内科健診・歯科健診は、保護者や職員にその内容を伝達し、保育にも反映させています。

・感染症対応マニュアルを作成しています。感染症発生時にはその発生状況等を掲示し、保護者に通知しています。

・食育計画に基づき、クッキング保育や保護者参加型クッキング、年4回の保護者向け試食会、園庭で栽培・収穫するきゅうりやトマトなどの野菜や果物を食べるなどに取り組んでいます。

・アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、代替食を提供しています。

・園内は清潔に保たれています。園庭には、すももやびわ、ざくろなどの実のなる木があります。また、屋上遊技場の設置など敷地を有効に利用し、豊かな環境作りに努めています。

・体操(3歳児から)・音楽(3歳児から)・茶道(4歳児から)・書道(5歳児から)・英語(5歳児から)などを実施しています。造形展、音楽会、生活発表会、運動会には地域の方も招待して、日頃の活動の成果を発表しています。

・乳児保育室は、畳敷きで寝室と保育室を分け、乳児の体調や様子によって、いつでも寝られるよう配慮しています。

・長時間にわたる保育では、園児引継ぎ依頼書により遅番出勤の保育士へ伝達事項を引き継いでいます。延長保育は、畳の部屋で過ごします。

・障がい児保育は、月間個人指導計画に沿って、個性に合わせた配慮を行っています。また関係機関とも連携を密にし、その相談内容は記録し、職員間で共有しています。

**-2 子育て支援**

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
- 2 子育て支援	- 2 - ( 1 ) 入所児童の保護者の育児支援	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	B
		家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	B	A	
	- 2 - ( 2 ) 一時保育	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	B	B

**[自由記述欄]**

・登降園時の保護者との情報交換は、必要に応じて関係職員間で記録し、周知を図っています。個別面談に関して今後は、希望者だけでなく、定期的な機会を設けて実施することが望ましいでしょう。

・クラス懇談会、誕生会などで園長から園の方針について話しがあります。また、月2回実施される親子保育や保育参観、祭りなど季節に応じた保護者が参加する行事を実施し、園と保護者が共通理解をもてるようにしています。

・虐待に関するマニュアルを定め、早期発見に努めるとともに、関係機関への通達まで職員間の連携を整備しています。

・子どもの発達に関わる記録が整備され、指導計画や保育要録に反映されています。

・一時預かりは、事前に連絡があり止むを得ない事情の場合、受け入れています。また、卒園児で年度初めの小学校入学まで保育に欠ける場合は、その子どもを保育しています。

**- 3 安全・事故防止**

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
- 3 安全・事故防止	( 1 ) 安全・事故防止	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

**[自由記述欄]**

・調理施設衛生管理マニュアル、食中毒防止マニュアルを定め、職員間で周知しています。

・施設の設備等の事故防止安全チェックリストがあり、毎日確認しています。

・安全管理マニュアルがあり、災害発生時等の職員の対応を定め、職員間で確認しています。避難時に地域の方と協力する体制を整えています。

・園内には4台のモニターカメラや非常ベル9台を設置しています。